

全国学力・学習状況調査結果分析と改善策

お知らせが遅くなり申し訳ありません。全職員で全国学力・学習状況調査の結果分析を行い、改善策を考えました。

今年度の結果は、国語、算数共に全国、兵庫県の結果を下回りました。国語は兵庫県、全国の平均から5ポイント、算数では7ポイント離されています。昨年度は国語で10ポイント、算数で15ポイント下回っていましたので、少し回復しています。

この状況を踏まえて、今必要とされる学力が身につくよう、授業改善を進めていきます。

§ 国語・算数の結果より

※○現在身につけている力、△課題

	結果分析	改善策
国語	<p>○目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり、関連づけたりして、伝えたい内容を明確にすることができる。</p> <p>○読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気づくことができる。</p> <p>△正しい漢字の使用。とめはね、同音異義語の習熟、基本的な漢字の定着が見られる。</p> <p>△目的や意図に応じて、事実と感想や意見とを区別して書くなど自分の考えが伝わるような書き方ができる。</p> <p>△ 語彙が少ない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 日頃からの反復練習、同じへんやつくりの漢字のグループ化など行う。 • 条件を定めて書く習慣をつける。(授業後のふりかえりでキーワードを入れる、字数以外の条件、考えをもつ→比較→文章化、だんだん条件を増やす) • 語彙を増やすために…読書、新聞、言葉クイズ、作文、短文づくりを行う。
算数	<p>○計算に関して、成り立つ性質を活用し、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できる。</p> <p>○球や立方体など図形の性質を理解し、体積の求め方を式で表すことができる。</p> <p>○速さについて理解している。</p> <p>△問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことができる。</p> <p>△除数(割り算で割る方の数)が小数である場合の除法(割り算)において、除数と商の大きさの関係を理解している。</p> <p>△道のりや速さに関する問題で、理由を言葉や数を用いて記述することができる。</p> <p>△グラフの特徴を理解し読み取ることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 問題内容を想像するイメージ力が足りないので、問題に合わせて図を書いたり、式に書き加えたりすることを習慣化させる。 • 問題を細かく読む、最後まで読む習慣をつけさせる。 • 頭の中で考えたことを言葉や式に表すことが苦手なので、授業中に自分の言葉で説明する機会を増やしていく。 • 様々なグラフを読み取る練習を行い、性質の違いや特徴を理解できるようにする。

§ 質問紙より

★全国平均、県平均より上のもの

- ICT機器を勉強に使用している割合。(本校 16.7%、県 3.0%、全国 3.2%)
- スマホ携帯電話のルールを守っている割合。(本校 100%、県 70%、全国 71.1%)
- 自分には良いところがあると思う人の割合。(本校 100%、県 83.5%、全国 84.1%)
- 先生が、自分の良いところを認めてくれていると思う人の割合。(本校 91.7%、県 86.6%、全国 89.9%)
- 困ったとき、大人に相談できる割合。(本校 75%、県 66.1%、全国 67.1%)
- 学校に行くのが楽しいと思う割合。(本校 100%、県 83.6%、全国 84.8%)
- 普段の生活で幸せを感じる人の割合。(本校 100%、県 91.5%、全国 91.7%)
- 理科の授業が好きな人の割合。(本校 100%、県 83%、全国 83.6%)
- 総合的な学習の時間、進んで取り組んでいる人の割合。(本校 100%、県 77%、全国 81.3%)

★全国平均、県平均より下のもの

- 将来の夢や目標を持っている人の割合。(本校 75%、県 81.9%、全国 82.4%)
- 平日、1日2時間以上、学校以外で勉強する人の割合。(本校 8.3%、県 26.4%、全国 23.5%)
- 土日、1日3時間以上勉強する人の割合。(本校 0%、県 13%、全国 11.6%)

まとめ

1 学習での練習量の不足

- スーパー算数のおかげで、算数の反復練習する時間は昨年度よりどの学年も増えていますが、毎日の家庭学習での復習等は家庭での勉強時間から考えるとまだまだ不十分であり、それが定着に影響しています。

2 家庭学習の問題

- 平日、休日ともに家庭学習の時間の少なさが顕著です。毎日の家庭学習の習慣化や計画的に勉強する姿勢を身につける必要があります。

3 将来の目標に関して

- 学習に対する意欲を考えると、将来の夢や目標を持っていない状況が質問紙の結果から見えてきます。これは昨年度も同様の結果が見られていました。学校で計画的にキャリア教育を行い、子どもたちが「〇〇になりたい」、「△△な資格を取りたい」、「××な学校に行きたい」等、目標を持って生活できるような取組が必要です。

4 自分の意見を持つことや行動力は全国平均以上

- 自ら進んで疑問を解決したり、探求をしたりする姿勢は全国平均以上です。また、楽しく毎日を暮らし、幸せを感じながら困ったら大人を頼り、生活をより豊かにしようと努力できるところは立派です。地域、家庭等恵まれている環境に感謝します。